

## 2024 JTA テニスルールブック改訂点比較表

改訂前	改訂後
<p><b>P1 ルールおよびルールブックについて</b> rules@jta-tennis.or.jp</p>	<p><b>P1 ルールおよびルールブックについて</b> <a href="#">JTA HP &gt;お問い合わせ&gt;ルール及びルールブックについて + QRコード</a></p>
<p><b>P11</b> <b>b)タイブレークゲーム</b> タイブレーク・ゲーム第 1 ポイントのサーバーは、次のセット第 1 ゲームのレシーバーとなる。</p>	<p><b>P11</b> <b>b)タイブレークゲーム</b> タイブレーク・ゲーム第 1 ポイントのサーバーは、<a href="#">となるべきプレーヤー/チーム</a>は、次のセット第 1 ゲームのレシーバーとなる。</p>
<p><b>P36</b> <b>ボールマーク・チェックの手順について</b> 8. チェアアンパイアが BMI の最終判定をする前に、プレーヤーが自らボールマークを消した場合は、プレーヤーは相手プレーヤーにポイントを譲ったと判定する。</p>	<p><b>P36</b> <b>ボールマーク・チェックの手順について</b> 8. チェアアンパイアが BMI の最終判定をする前に、プレーヤーが自らボールマークを消した場合は、プレーヤーは<a href="#">最初のコールまたは、最初のオーバールールが誤りであると認めたと</a>判定する。</p>
<p><b>P55</b> <b>Q7) 電子機器の使用</b> プレーヤーは、試合中いかなる電子機器も使用することができない。スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。</p>	<p><b>P55</b> <b>Q7) 電子機器の使用</b> プレーヤーは、試合中いかなる電子機器も使用することができない。スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。 <a href="#">電動ファン付きジャケット・ベストの着用および電動ファンについては、各エンドチェンジ・セットブレイクの時間内に限り使用することができる。</a></p>
<p><b>P60</b> <b>Q24) スコアの誤り</b> スコアの誤りが試合終了後にわかった場合は、その誤りは訂正できない。チェアアンパイアがゲームセットアンドマッチとアナウンスした時点で試合終了となる。  チェアアンパイアのいない国内公式トーナメントでは、両プレーヤー・チームが勝敗を認めて握手した時点で試合終了となる。  誤りを訂正したら、すでにセットが終了していた場合、（例えば 6-5 は誤りで、訂正したら、6-4, 0-1 であったという場合）、セット終了のスコアを有効とし、以後続いたプレーの結果のスコアは、次のセットのスコアとして有効となる。</p>	<p><b>P60</b> <b>Q24) スコアの誤り</b> <a href="#">試合中の</a>スコアの誤りが試合終了後にわかった場合は、その誤りは訂正できない。チェアアンパイアがゲームセットアンドマッチとアナウンスした時点で試合終了となる。<a href="#">試合終了後、主審が試合結果のスコアを間違えて報告した場合は、スコアカード・PDA の試合結果を確認し訂正することができる。</a>  チェアアンパイアのいない国内公式トーナメントでは、両プレーヤー・チームが勝敗を認めて握手した時点で試合終了となり、<a href="#">試合中のスコアの誤りについて訂正することはできない。試合終了後、勝者が試合結果のスコアを間違えて報告した場合は、両選手の同意が得られれば試合結果を訂正することができる。試合中、スコアの誤りを訂正したら、すでにセットが終了していた場合、（例えば 6-5 は誤りで、訂正したら、6-4, 0-1 であったという場合）、セット終了のスコアを有効とし、以後続いたプレーの結果のスコアは、次のセットのスコアとして有効となる。試合中に間違いを訂正した場合、同じ内容について再度訂正をすることはできない。</a></p>

<p><b>P122</b>  <b>3.実力評価方式</b>  2)ダブルス  ダブルスの選考基準は、エントリー締め切り時点の最新の合計ランキングに基づく。  合計ランキングがタイの場合は上位者のいるペアが優先する。ペアの 1 人だけがランキング保持者の場合は、アクセプタンスリストの選考基準の対象とし、ランキング上位者のいるペアが優先する。ペアの 1 人だけのランキングがタイ の場合の優先順位は抽選により決定する。</p>	<p><b>P122</b>  <b>3.実力評価方式</b>  2)ダブルス  ダブルスの選考基準は、エントリー締め切り時点の最新の合計ランキングに基づく。  <u>受入れ順 1：両選手がランキング保持者のペア</u>  <u>合計ランキングがタイの場合、ランキング上位者がいるペアが優先する。</u>  <u>受入れ順 2：1 人の選手のみがランキング保持者のペア</u>  <u>タイの場合は抽選する。</u>  <u>受入れ順 3：両方の選手がランキングなしのペア</u></p>
<p><b>P124</b>  <b>6)ラッキーローザー(LL/Lucky Loser)</b>  予選のある大会では、予選開始後、本戦に欠員が生じた場合の補充として、ラッキーローザー(LL)を充てる。LL は予選出場者に限られ、予選最終ラウンドの敗者のランキング保持者を優先とし、抽選で順位がつけられる。ランキングは予選ドローで使用したランキングに基づく。</p>	<p><b>P124</b>  <b>6)ラッキーローザー(LL/Lucky Loser)</b>  予選のある大会では、予選開始後、本戦に欠員が生じた場合の補充として、ラッキーローザー(LL)を充てる。LL は予選出場者に限られ、予選最終ラウンドの敗者のランキング保持者を優先とし、抽選で順位がつけられる。<u>ダブルスはランキング保持者同士のペアが優先される。</u>ランキングは予選ドローで使用したランキングに基づく。</p>
<p><b>P126</b>  <b>4) ラッキーローザーのサインイン</b>  初回戦が行われるそれぞれの日、オーダーオブプレーで発表された最初の試合の開始時刻 30 分前までに、レフェリーから用意されたラッキーローザーサインイン用紙に、自身でサインし、LL 補充の発表後 5 分以内にコートで試合を開始しなければならない。ラッキーローザーのサインインの締め切り時刻は、天候で 試合開始時刻が変更されても変わらない。</p>	<p><b>P126</b>  <b>4) ラッキーローザーのサインイン</b>  初回戦が行われるそれぞれの日、オーダーオブプレーで発表された最初の試合の開始時刻 30 分前までに、レフェリーから用意されたラッキーローザーサインイン用紙に、自身でサインし、LL 補充の発表後 5 分以内にコートで試合を開始しなければならない。<u>天候等により、ラッキーローザーのサインイン締め切り時刻よりも早い時点で新たな試合開始時刻が発表された場合、サインイン締切時刻も延長される。但し、ラッキーローザーのサインインが締め切られた後に、天候等で試合開始時刻が変更されても延長はできない。</u></p>
<p><b>P129</b>  <b>13. ドローの誤り</b>  ドローが作成され、トーナメントが開始されるまでに、そのドローに誤りが発見された場合は、直ちにドローを作り直す必要がある。トーナメントが開始されたあとで発見された場合は、誤ったままのドローでトーナメントを続けるものとする。</p>	<p><b>P130</b>  <b>13. ドローの誤り</b>  ドローが作成され、トーナメントが開始されるまでに、そのドローに誤りが発見された場合は、直ちにドローを<u>訂正しなければならない。訂正の手順は、64 ドロー-16 シードの大会例では、第 1 または第 2 シードにすべき A 選手をシードにしなかった場合、A 選手を第 2 シードへ移動し、第 2 シードにいた B 選手を第 4 シードの位置へ移動し、第 4 シードにいた C 選手を第 8 シードへ移動し、第 8 シードにいた D 選手を第 12 シードへ移動し、第 12 シードにいた E 選手を第 16 シードへ移動し、第 16 シードにいた F 選手を誤ってシードとされなかった A 選手のいた位置へ移動する。ドローサイズ、誤った選手のシードによって上記を応用して最少の移動でドローを訂正する。一部の訂正では不可能な誤りで、ドロー全体に影響を及ぼす場合に限り、ドローを作り直す。</u>  トーナメントが開始されたあとで発見された場合は、誤ったままのドロー</p>

	<p>ーでトーナメントを続けるものとする。<u>但し、その訂正が当日の試合に影響が無く次の日に予定されている試合のみで訂正できる場合は、前述の最少移動手順で誤りを訂正する。</u></p> <p><u>シード選手のウィズドローはドロウの誤りではないので、この方法での訂正は行ってはならない。その場合は「14、ドロウ作成後の選手のウィズドロー」に従って選手の移動を行う。</u></p>
<p><b>P132</b> <b>ラウンドロビン方式</b> 表 ラウンドロビン方式における順位は以下の優勢順位 1 ～ 5 の順に決定する。 …省略… (3)(2)が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチーム(者)が上位 取得ゲーム率=取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数</p>	<p><b>P133</b> <b>ラウンドロビン方式</b> 表 ラウンドロビン方式における順位は以下の優勢順位 1 ～ 5 の順に決定する。 …省略… (3)(2)が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチーム(者)が上位 取得ゲーム率=取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数 <u>※残り2チームになったら優先順位3で決定する</u></p>
<p><b>P135</b> <b>24.ヒートルール</b> JTA ランキング対象大会の J1 以上で、男女シングルス・ダブルスのうち、試合フォーマットが 3 タイブレークセット、またはファイナルセットがアドバンテージセットで 行われる種目に限り、ヒートルールを採用することができる。会場での気温が摂氏 35 度以上になった場合、または環境省熱中症予防サイトで大会開催地の WBGT が 31℃ になった場合は、最終セットの前に、10 分間のコート外での休憩(セットブレイクの 120 秒を含む)が認められる。この 10 分間の休憩では、トイレ、着替えはできるが、コーチングを受けることはできない。メディカルタイムアウトはレフェリー が許可した場合に限る。 会場での気温が摂氏 40.1 度以上になった場合、または WBGT が 32.2℃ 以上 になった場合は、試合の中断および開始の遅延を検討する。進行中の試合を中断する場合は、セット終了時とし、開始前の試合についてはこの基準を下回るまで開始を遅らせる。 気温を測る場所はレフェリーがコートサイドの風通しの良い日陰を選んで決定し、 測る時間は試合開始の 30 分前、開始以降は 3 時間毎に、ドクターまたはトレーナーがレフェリーとともに確認する。ドクターまたはアスレチックトレーナーが不在の時 はレフェリーが行う。会場で正確な気温が測れない場合は、気象庁または最寄りの気象台発表の情報を確認する。但し、環境省の「暑さ指数(WBGT)の予測 予値等電子情報サービス」が 1 時間ごとに提供する大会会場に最も近い時点での WBGT を 参考にすることも出来る。</p>	<p><b>P136</b> <b>24.ヒートルール</b> JTA ランキング対象大会の J1 以上で、男女シングルス・ダブルスのうち、試合フォーマットが 3 タイブレークセット、またはファイナルセットがアドバンテージセットで行われる種目に限り、ヒートルールを採用することができる。 <u>コート上での WBGT が 30.1℃ になった場合は、最終セットの前に <b>セットブレイクの 120 秒を含む</b> 10 分間の休憩が認められる。この 10 分間の休憩では、トイレ、着替えはできるが、コーチングを受けることはできない。メディカルタイムアウトはレフェリーが許可した場合に限る。</u> <u>コート上での WBGT が 32.2℃ 以上になった場合は、試合の中断および開始の遅延を検討する。進行中の試合を中断する場合は、そのゲーム終了時とし、開始前の試合についてはこの基準を下回るまで開始を遅らせる。</u> <u>レフェリーまたはレフェリーが指名した審判員、ドクター、トレーナーがコート上で WBGT を計測する。</u> <u>計測時間は試合開始 30 分前から 2 時間毎が好ましいが、最低でも以下の 3 回の計測が必要となる。</u> <b>1. 試合開始 30 分前</b> <b>2. 1 日のスケジュールの中盤</b> <b>3. 最終試合または最初のナイトセッションが始まる直前</b>  <u>WBGT の計測が困難な場合はコート上での気温により決定し、気温 34℃は WBGT30.1℃、気温 40.1℃は WBGT32.2℃とする。</u></p>

	<p>会場で正確な気温が測れない場合は、気象庁または最寄り の気象台発表の情報を確認する。但し、環境省の「暑さ指数(WBGT)の予測 予値等電子情報サービス」が 1 時間ごとに提供する大会会場に最も近い時点での WBGT を参考にすることも出来る。</p>
<p><b>P136</b>  <b>25. メディカルルール (ケガ、病気に関するルール)</b>  1) メディカルコンディション (病状)  メディカルコンディションとは、試合中 (ウォームアップを含む) に発生したケガまたは病気が、トレーナーまたはドクターの手当や判断を必要とする症状。</p>	<p><b>P137</b>  <b>25. メディカルルール (ケガ、病気に関するルール)</b>  <u>トーナメントに出場しようとするプレーヤーは、試合開始時、プレー可能な健康状態であることが求められる。健康上の問題 (発熱、既往症など) があるプレーヤーは、出場する大会のドクターまたはトレーナーによるメディカルチェックを受け、プレー可能な健康状態であるかどうかを確認する。プレーが困難と判断されたプレーヤーは、直ちにウィズドロー届をレフェリーへ 提出しなければならない。ドクターまたはトレーナーがいない大会では、プレー可能な状態であるかどうか自己判断し、発熱、既往症の回復が不完全な場合または自己判断できない場合は、自身の最初の試合開始 30 分前までにレフェリーへ申告し出場の可否を確認しなければならない。申告違反をした場合、JTT 大会に限り「コード違反、メディカルチェック 違反 (無断出場) 」が課される。ただし、以下の場合はコード違反を免除する。</u>  <u>・その日の試合を完了した場合</u>  <u>・その試合中に起きたけが、発熱、既往症の急激な悪化によりレフェリーがリタイアを認めた場合</u>  1) メディカルコンディション (病状)  メディカルコンディションとは、試合中 (ウォームアップを含む) に発生したケガまたは病気が、トレーナーまたはドクターの手当や判断を必要とする症状。</p>
<p><b>P148</b>  <b>男子 表内のシャツ/セーター上着</b>  両方の袖それぞれに 39cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを 2 つ。  商業ロゴ 39cm<sup>2</sup>以内の 1 パッチに 2 つまで付けられる。文字のない製造業者ロゴは 77.5cm<sup>2</sup>以内で 1 つでも複数繰り返しても袖またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。   <b>帽子/ヘッドバンド/リストバンド</b>  <b>男子</b> : 帽子・ヘッドバンドは 26cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。26cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴ 1 つは頭部の側面に付ける。リストバンドは 26cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。  <b>女子</b> : リストバンドは 19.5cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。帽子・ヘッドバンドは 19.5cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。19.5cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴを頭部の側面に 1 つ。</p>	<p><b>P150</b>  <b>男子 表内のシャツ/セーター上着</b>  両方の袖それぞれに 39cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを 2 つ。  商業ロゴ<u>または製造業者ロゴを</u> 39cm<sup>2</sup>以内の 1 パッチに 2 つまで付けられる。文字のない製造業者ロゴは 77.5cm<sup>2</sup>以内で 1 つでも複数繰り返しても袖またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。   <b>帽子/ヘッドバンド/リストバンド/マスク</b>  <b>男子</b> : 帽子・ヘッドバンドは 26cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。26cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴ 1 つは頭部の側面に付ける。リストバンド<u>とマスク</u>は 26cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。  <b>女子</b> : 帽子・ヘッドバンドは 19.5cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。19.5cm<sup>2</sup>以内の商業ロゴ <u>1 つは頭部の側面に付ける</u>。リストバンド<u>とマスク</u>は 19.5cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを 1 つ。</p>

<p><b>P155</b></p> <p><b>1.大会出場とメディカルチェック</b></p> <p>トーナメントに出場しようとするプレーヤーは、試合開始時、プレー可能な健康状態であることが求められる。大会を健康上の理由でウィズドロー/リタイアしたプレーヤーは、次に出場する大会のドクターまたはトレーナーによるメディカルチェックを受け、プレー可能な健康状態に回復したと証明されない限り出場は許されない。プレーが困難と判断されたプレーヤーは、直ちにウィズドロー届をレフェリーへ提出しなければならない。ドクターまたはトレーナーがいない大会では、プレー可能な健康状態を証明する書面をレフェリーへ提出しなければならない。該当するプレーヤーは、自身の最初の試合開始 30 分前までにレフェリーへ申告しなければならない。これに違反して出場したことが発覚したプレーヤーは失格となり、JTA ポイントおよび賞金を受けることはできない。加えて「コード違反、メディカルチェック違反(無断出場)」が課される。</p>	<p><b>P157</b></p> <p><b>1.大会出場とメディカルチェック</b></p> <p>トーナメントに出場しようとするプレーヤーは、試合開始時、プレー可能な健康状態であることが求められる。<b><u>健康上の問題（発熱、既往症など）があるプレーヤーは、</u></b>出場する大会のドクターまたはトレーナーによるメディカルチェックを受け、プレー可能な健康状態<b><u>であるかどうかを確認する。</u></b>プレーが困難と判断されたプレーヤーは、直ちにウィズドロー届をレフェリーへ提出しなければならない。ドクターまたはトレーナーがいない大会では、プレー可能な<b><u>状態であるかどうか自己判断し、発熱、既往症の回復が不完全な場合または自己判断ができない場合は、</u></b>自身の最初の試合開始 30 分前までにレフェリーへ申告し<b><u>出場の可否を確認し</u></b>なければならない。これに違反して出場したことが発覚したプレーヤーは <b><u>JTT 大会に限り</u></b>「コード違反、メディカルチェック違反（無断出場）」が課される。 <b><u>ただし、以下の場合にはコード違反を免除する。</u></b> <b><u>・その日の試合を完了した場合</u></b> <b><u>・その試合中に起きたけが、発熱、既往症の急激な悪化によりレフェリーがリタイアを認めた場合</u></b></p>
<p><b>P203</b></p> <p><b>チェアアンパイアのつかない試合方法</b></p> <p>試合開始前のウォームアップは、スタートオブマッチに従って行うか、あるいは大会 要項にウォームアップの記載があればそれに従って行う。</p>	<p><b>P207</b></p> <p><b>チェアアンパイアのつかない試合方法</b></p> <p><b><u>チェアアンパイアがつかない試合では、以下の方法に従って選手自身が判定を行う。試合中のトラブルを回避するために、選手は日本テニス協会が推奨する「セルフジャッジの 5 原則」を遵守し、フェアな判定で正々堂々とプレーすることが求められる。トラブルが解決しない場合は速やかにロービングアンパイアまたはレフェリーを呼ぶ。</u></b> <b><u>*セルフジャッジの 5 原則のチラシ：JTA ホームページ→情報→インテグリティ→フェアプレー推進</u></b></p>
<p><b>P204</b></p> <p><b>1. セルフジャッジの方法</b></p> <p>4) ダブルスの判定とコールは、1 人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤー/ チームが「グッド」に訂正した場合は、1 回目限り故意ではない妨害としてポイントレットとなる。ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、1 人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サービスの）レット」となる。</p>	<p><b>P208</b></p> <p><b>1. セルフジャッジの方法</b></p> <p>4) ダブルスの判定とコールは、1 人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、1 人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サービスの）レット」となる。</p>
<p><b>P205</b></p> <p><b>15) 誤ったコールを訂正した場合（クレーコートを除く）</b></p> <p>インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール（ミスジ</p>	<p><b>P209</b></p> <p><b>15) 誤ったコールを訂正した場合（クレーコートを除く）</b></p> <p>インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール（ミスジャッ</p>

<p>ジャッジ) したとしても「グッド」に訂正 (コレクション) した場合は、1 回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らか なウイニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。</p>	<p>ジ) したとしても「グッド」に訂正 (コレクション) し<u>返球が正しく相手コートに入った</u>場合、1 回目は<u>相手への</u>故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らか なウイニングショット・エース<u>または返球がアウトした場合は相手への妨害が起こっていないので、1 回目であっても</u>ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。</p> <p><u>ダブルスのペアの判定が食い違ったとしても「フォルト」「アウト」をコールしたプレーヤー/ チームが「グッド」に訂正した場合も同様の扱いとする。</u></p>
<p><b>P209</b> <b>6 コートオフィシャルのコードオブコンダクト</b> <b>審判員の順守事項</b></p> <p>8. 試合をコントロールする目的以外で、試合の前後にかかわらず、観客と試合や審判に関するコメントをしてはならない。</p> <p>9. レフェリーの許可なしに、メディア(ソーシャルネットワークを含む)に対して、試合や審判に関するコメントをしてはならない。</p>	<p><b>P213</b> <b>6 コートオフィシャルのコードオブコンダクト</b> <b>審判員の順守事項</b></p> <p>8. 試合をコントロールする目的以外で、試合の前後にかかわらず、観客と試合や審判に関するコメントをしてはならない。</p> <p><b>9. ソーシャルメディアの使用</b></p> <p><u>i ) 選手やコーチ、大会主催者のいかなる投稿にも、いいねやシェア、コメントをしてはならない。</u></p> <p><u>ii ) 選手やコーチ、主催者をフォローしたり友達になったりしてはならない。</u></p> <p><u>iii ) イベントや選手、主催者等のハッシュタグを使用してはならない。</u></p> <p><u>iv ) 試合や選手、アサインメントや結果等の情報を投稿してはならない。</u></p> <p><u>v ) ルールや規則、運営組織について意見をしてはならない。</u></p> <p><u>vi ) 大会開始前及び開催中に、大会会場での自身の写真を投稿してはならない。</u></p> <p><u>10.</u>レフェリーの許可なしに、メディア(ソーシャルネットワークを含む)に対して、試合や審判に関するコメントをしてはならない。</p>
<p><b>P209</b> <b>審判員の順守事項</b></p> <p>14. あらゆる刑法、本書第 8 部日本テニス協会関連規則 2. 倫理規程および TIU テニス腐敗防止規則を遵守しなければならない。</p>	<p><b>P214</b> <b>審判員の順守事項</b></p> <p>15. あらゆる刑法、本書第 8 部日本テニス協会関連規則 2. 倫理規程および <u>ITIA</u> テニス腐敗防止<u>プログラム</u>を遵守しなければならない。<u>試合中のコートへスマートフォン/スマートウォッチの持ち込みは禁止されている。</u></p>